

重 要 記 録

1 ワクチン接種・経済対策など新型コロナウイルス感染対策を推進（通年）

新型コロナウイルス感染症対策として感染拡大防止、重症化予防を図るため、県・医療機関と連携してワクチン接種体制を強化し、ワクチン接種率の向上に取り組んだ。

また、経済対策として、市内事業者の事業継続を目的とした資金繰り支援や「事業継続応援特別支援金」の支給のほか、「よなごを元気に！飲食店応援キャンペーン」や「米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン」など、感染状況や社会情勢に応じた施策を実施した。

2 伊木市政の2期目がスタート（4月）

任期満了に伴う令和3年4月18日執行の米子市長選挙において、米子市長に伊木隆司氏が無投票で再選された。「住んで楽しいまちづくり 第二章」として、「交通基盤の充実と歩いて楽しいまちづくり」をはじめとする7つの目標の実現に向けて、伊木市政の2期目がスタートした。また、同日に米子市議会議員補欠選挙が行われ、1名の議員が誕生した。

3 鳥取県・米子市新体育館の基本計画を策定（4月）

米子市民体育館、米子市営武道館、鳥取県立米子産業体育館の3施設の機能を集約した施設として、東山公園内に県と共同整備する米子新体育館の基本コンセプトや施設機能、整備スケジュール等をまとめた基本計画を策定した。

4 「皆生温泉海遊ビーチ」に～リニューアルを機に名称変更～（6月）

皆生温泉開発100周年を記念し、皆生海水浴場を「皆生温泉海遊ビーチ」に名称変更した。内容もリニューアルし、休憩スペースの新設や、海のアクティビティと飲食メニューを充実化し、海水浴に限らない多様なビーチの楽しみ方が可能となった。

5 東京2020オリンピック・パラリンピックで米子出身選手が大活躍（7～9月）

1964年大会以来、57年ぶりの東京開催となったオリンピック・パラリンピックに、過去最多となる5名の米子出身選手が出場した。中でも、女子ボクシングフェザー級の入江聖奈選手は鳥取県勢史上初となる金メダルを獲得し、この快挙を讃え米子市市民栄光賞を授与した。

6 スマート窓口を開設（10月）

引越しや出産などのライフイベントに必要な手続きの手間を減らすため、本庁舎1階にスマート窓口を開設した。一次稼働として、子育てに関する手続きについて、タブレット端末やQRコードを活用し、各窓口で記入していた情報をスマート窓口で一括入力できるようになった。

7 美保地区の義務教育学校の設置方針固まる（10月）

児童生徒数の減少が進む美保中学校区の学校づくりについて、米子市立学校校区審議会で審議が行われた。米子市教育委員会は、審議会の答申のとおり、崎津小、大篠津小、和田小及び美保中を廃止し、新たに米子市初の義務教育学校を設置する方針を決めた。多様な人間関係の中で切磋琢磨したり、協働的に学んだりすることで、一人一人の力を最大限伸ばしていくことが期待される。

8 淀江傘誕生200周年記念事業を開催（10月）

淀江傘が伝承されて200年の節目を迎え、傘の企画展で和傘200本以上の展示や製作実演、企画展示などの開催を通じて淀江傘の魅力を広く発信し、技術の継承や地域の振興に向けた取組を行った。

9 「こども総本部」の新設（12月）

子どもに関する施策について、制度や、国の所管省庁の違いを越えて、教育と福祉が一体となって総合的かつ効果的に推進することができる新たな組織体制を整備するため、12月6日付けで組織機構改正を行い、新たな部として「こども総本部」を設置するとともに、子どもや子育て支援に関する窓口を、ふれあいの里に集約した。

10 米子城が絶景の城として「最強の城」に選ばれた（1月）

令和4年元日にNHKで放送された「最強の城スペシャル」で、毎年2月20日ごろと10月22日ごろに見ることができる日の出の位置がちょうど大山山頂のあたりとなる「ダイヤモンド大山」という現象や、天守から見える360度のパノラマなどの絶景が評価され、絶景の城として「最強の城」に選ばれた。